

## 市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（豊岡小学校）

期 日：平成 27 年 7 月 4 日 9 時 00 分～10 時 30 分

場 所：豊岡小学校体育館

参加者：豊岡小学校保護者・PTA 役員 OB 21 名、校長・教頭

### 【意見内容と回答】

※まず、豊岡小学校統廃合に関わる地域会合の意見集について、次のとおり報告した。

#### 〔意見 1〕

学校の適正規模、適正配置とはどのようなこと。

#### 【回答】

学校教育に期待されることは、児童生徒が充実した集団活動の中で、切磋琢磨しながら成長することです。そのために教育委員会の責務として、子どもたちが豊かな学校生活を送るための教育環境を創出し、それに伴う学校の運営面や教職員の指導力の向上も含め、一定の学校規模を確保し、全ての学校が教育効果を発揮できるように環境を整えることです。

しかしながら、本市の児童生徒数は少子化に伴い年々減少しており、19 校ある小中学校のうち 17 校が小規模校という現状にあります。各学校ではそれぞれの課題に対し、教職員や保護者、地域の方々の協力によって教育活動の充実に向けた取り組みが行われていますが、今後さらに学校の小規模化が進んでいくことになると、地域の方々の協力や各学校の取り組みだけでは予想される課題を克服することが難しくなります。さらに、学校規模そのものに起因する課題が生じてきます。このため、これらの課題に取り組むために、統合も含めた学校の規模適正化・適正配置を行うものです。

適正な規模とは、学校教育法施行規則 第 4 1 条により、小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とされています。山武市では、市民や保護者からのアンケート内容や学校のあり方検討委員会からの答申の内容についての各学校からの意見シートを踏まえ検討した結果、クラス替えのできる学級数（2 学級以上）が必要であると判断し、答申と同様に本市における望ましい学級数を小学校では 12 学級以上（1 学年 2 学級以上）としました。

学校規模適正化を図るための具体的な手法として、通学区域の見直しと学校の統廃合の 2 つが考えられます。一般的な手順としては、隣接校との通学区域の変更について検討を行います。その結果、通学区域の変更だけでは適正規模を安定的に確保できない場合は、学校の統合について検討を行うこととなります。本市には小規模校が多く、通学区域の調整のみでは将来的に安定した望ましい規模を確保することができないと判断し、統合を進める形となりました。

---

#### 〔意見 2〕

豊岡小学校はもう存続していくことは出来ないのか？

#### 【回答】

豊岡小学校は、平成 25 年度から増置教員を担任として配置したことから複式学級の解消を図ってまいりましたが、平成 27 年度から複式となる学年が増えたため、市でも対応が困難となり複式

学級が始まっております。複式になると、教員の人数減につながるため、きめ細やかな教育に取り組むことが難しくなります。複式学級の授業では、学年を越えた交流や活動が行いやすく、児童同士が親密な人間関係を築きやすいという長所がある反面、同学年の児童の多様な考えに触れる機会が少ないなどの短所もあります。また、学習指導上の問題も多く、編成する2つの学年の組み合わせによっては、指導内容のまとまりが異なることから指導計画を構成することが難しくなることや同じ教科でも学年によって時間数が異なるため、時間割等の計画を立てるのが難しいなどの課題もあります。

学校は地域コミュニティの核であることも十分理解できますが、教育委員会としては児童への教育効果を第一に考え、豊岡小学校の複式学級の問題を解消するために、地域性や通学距離を考慮し、松尾小学校との統合が望ましいと考えています。

---

〔意見3〕

豊岡小学校は地域コミュニティの核として是非存続させたい。

【回答】

地域コミュニティの核である学校を存続させたいという思いは十分理解できますが、次代を担う子どもたちが豊かな学校生活を送るための教育環境を創出し、それに伴う学校の運営面や教職員の指導力の向上も含め、一定の学校規模を確保し、全ての学校が教育効果を発揮できるように環境を整えることが教育行政に課せられた責務であると考えています。

統合により、使われなくなった学校施設の跡地利用については、統合準備専門部会を設置しての検討を考えています。その際、部会の構成員の中に地域の代表者や保護者の代表者の方々に入っただき、一緒に考えていきたいと思えます。また、検討にあたっては、学校にとられない地域コミュニティの核としての利活用についてもいろいろご意見をいただきたいと考えています。

---

〔意見4〕

豊岡小学校は廃校になってしまうのか？存続させる方法はないのか？

【回答】

複式学級を有する学校になると、学習や集団活動についての制約が多く、児童への教育効果という観点から考えた場合に、その解消を図るための方策を講じる必要があります。

小中一貫教育、特認校制度等の検討も行いましたが、豊岡小学校と松尾小学校を統合することで、子どもたちが豊かな学校生活を送るための教育環境を創出することが出来ると判断しました。

---

〔意見5〕

子供たちの通学途上、おはよう、おかえり等々地域の人達との様々な交流がある。子供たちは地域で育ち地域で育んでいるとの実感がある。

豊岡の地にある小学校の良さを日々感ずる一人として特認校として指定し存続を望んでいる。地域農業家の一人としても協力は惜しまない。

【回答】

基本方針（素案）を策定する際も、存続させるにはどうしたらよいか、どのような方策があるか検討しました。その中では、学区の再編により規模適正化を図る手法、特色ある学校運営により市内外から

児童生徒を確保する特認校制度についても議論されましたが、全市的に小規模校である本市においては望ましい方策ではないと判断し、まずは統合によって規模適正化を図る考えに至りました。

文科省の手引書で、学校規模の標準を下回る場合の目安として、小学校の場合、6学級：クラス替えができない規模については、児童数の状況や更なる小規模化の可能性、将来的に複式学級が発生する可能性も勘案し、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。と書かれております。その際、離島や山間地などで統合が事実上できない学校や統合できない地域的な事情がある場合には、そのままの状況で小規模化のデメリットを解消するような方策を検討するということが書かれています。

日頃から、学校行事のみならず、登下校の見守りなど地域の方々のご支援ご協力には大変感謝しておりますし、学校が地域コミュニティの中心的存在であることも十分理解しています。

しかしながら、教育委員会では、学校はやはり義務教育における目的を果たすためにより教育効果を高める学びの場であることを最優先に考えております。

そうでなければ少子化が進む状況下において、この考えから学校の存続をさせていこうとすると、学びの場としての学校という本来の役割が機能しづらくなっていく懸念があります。

学区が変わったとしても地域の子には変わりはなく、暖かい目で見守っていただきたいと考えております。

---

〔意見6〕

特認校の話があり、豊岡小学校が存続出来そうだと喜んでいたがその後どうなったのか？

【回答】

意見5の回答と同じ。

---

〔意見7〕

何故、小中一貫校、特認校の答申が立ち消えになったのか？

【回答】

特認校については、意見5の回答と同じ。

小中一貫校については、教育委員会の協議会において答申内容を検証していった中で、小学校同士、中学校同士の統合した方が、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けやすいと判断し、小中一貫については、規模適正化の手法とし取り組まない方向で調整されました。

---

〔意見8〕

学校のあり方検討委員会答申の意義は？

【回答】

教育委員会では、学校のあり方検討委員会の答申を十分尊重しこの基本方針案を策定しております。しかしながら、基本方針策定の過程において、答申いただいた内容を精査・検証していく中で教育委員会としてより教育効果が高いと判断したことについては、教育委員会の見解を示させていただきました。

〔意見 9〕

少人数の教育にかかる学校運営費は惜しまないでほしい。

特認校のような特色のある小学校運営をすれば児童数の増加を望める。またそのような選択肢を市民として持ちたい。対外的に市政アピールにもなる。

【回答】

意見 5 の回答と同じ

---

〔意見 10〕

児童減少対策として、豊岡小学校独自で学校保育の年齢や時間枠の拡大を試みてはどうか。

【回答】

学童保育ということであれば、対象の学年が法律で定められており、変更は難しい。

---

〔意見 11〕

統廃合に関するタイムリミットはあるのか？もう統廃合は決定事項なのか？

【回答】

今後、今年度中に年次計画や優先順位を踏まえた適正配置計画（案）を策定し、説明会を実施することになるかと思いますが、地域の皆さんや保護者の方々の理解が得られてから進めていくものだと考えていますので、決定事項ではないということは理解していただきたい。

---

〔意見 12〕

他地域の統廃合が済んでいる小学校のメリット、デメリット等の情報は入手可能か？参考にしたい。

【回答】

千葉市のホームページに、「千葉市学校適正配置実施方針」（平成 26 年 9 月改正版）が掲載されており、その中に平成 25 年度統合校の児童生徒、教職員、保護者を対象としたアンケート結果が載っていたので、資料の最後に抜粋したものをつけております。

---

〔意見 13〕

豊岡小と松尾小の統合なら校舎は何処にするのか？

松尾小に統合するなら現在のまつおこども園を敷地等に余裕のある豊岡小に移動してはどうか。（現状のまつおこども園の校舎よりも新しいし自然環境もよくスペースもある。）又は豊岡小と松尾小の統合であるならば豊岡小校舎を使えないか？

【回答】

お示した基本方針【素案】のシミュレーションでは、豊岡小と松尾小を統合し、学校施設の規模が大きい松尾小学校を利用する予定です。まつおこども園を豊岡小に移転することも一案として考えられるかと思いますが、学校の規模適正化・適正配置の具体的なスケジュールが定まってから検討となりますので、現時点ではお答えすることは出来ません。

---

〔意見 14〕

統合前に学校行事（運動会・球技大会）の共催等も検討し児童保護者の交流を図り、その後どちらの学校を使うのか決めればどうか？

【回答】

学校が置かれている状況や環境、今後の建て替え計画等を総合的に判断すると、松尾小学校が適当と判断しました。統合が決定した場合は、児童保護者の交流の場を設けられると考えます。

.....  
〔意見 15〕

現在の豊岡小は団体競技ができないなどのデメリットもある。

【回答】

その他にも、クラブ活動や部活動の種類が限定されたり、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がるというデメリットもあります。子どもたちの活動を充実させるために、規模適正化・適正配置を進めさせていただければと考えます。

.....  
〔意見 16〕

災害時にこの豊岡小学校を避難場所等として利用したい。（施設管理の必要性、電気、電話等）

【回答】

統合後の学校施設及び跡地の活用方法については、地域の意向やニーズに十分配慮するとともに、財政面や防災面なども踏まえ、多角的視点から将来を見通した有効活用策を地域の皆さんと十分協議しながら検討していきます。また、統合準備専門部会を設置して検討していくことになるかと思えます。その際、部会の構成員の中に地域の代表者や保護者の代表者の方々にも入っていただき検討していきます。

.....  
〔意見 17〕

統廃合後はスクールバスの通学手段とあるが待合場所等は？

バス停の安全確保は？ルートは？何回のバス運行か？様々な検討はいつ？どこで？誰が？どの様に？通学路の安全整備は如何？（通学路・歩道整備等）

【回答】

統合決定後、統合準備専門部会を設置し、検討を進める形になります。

.....  
〔意見 18〕

統合後の児童の心のケアは十分考えられているのか？子どもは不安に感じている。

【回答】

学校統廃合の実施にあたっては、方針決定後の準備期間中に統合時の児童の心の負担・不安を排除するために統合予定校相互の日常的な交流をより活発に行うとともに、統合後にも急激な環境の変化に戸惑う子どもたちが出てくることが予想されますので、「心のケア」を目的とした人員配置をしっかりと行います。また、今まで通学していた学校が廃校となり規模の大きな学校に通学することになった児童が新しい課題にしっかりと取り組めるように、教育現場と密接な連絡調整を行います。

---

〔意見 19〕

統廃合し豊岡小が閉校した場合、次の用途は？

現在休園している豊岡保育所のように荒廃させたくない。

(現状の豊岡保育所跡地は市役所のゴミ箱扱いになっている。)

【回答】 意見 16 の回答と同じ

---

〔意見 20〕

市財政を考えると統廃合も仕方ない。

【回答】

ご意見のとおり本市の財政状況は、合併したことにより国からの交付税が増額されておりますが、平成 33 年にはこの増額部分も打ち切りとなることから、今より厳しい財政状況になることが見込まれています。この交付税は、市町村間の財源の不均衡を調整し、すべての市町村が一定の水準を維持しうるよう財源を保証するというもので、交付されているものです。交付額を算定する際、児童生徒数、学級数、学校数なども算定基礎となっていることから、学校が少なくなれば当然経費は削減されますが、同時に交付税の額も減ることになるため、統廃合することが財政効果につながるとは一概には言えません。あくまでも、学校の統廃合は教育環境を整えるために行うものあることをご理解いただきたいと思います。

---

〔意見 21〕

学校の統廃合問題は単年度で解決できる事ではないので、今後はこの問題の情報等を区民が共有できるような場（この会合のような）を設け、地区の多様な意見を反映させていく必要性を感じることから、恒常的に機会を捉え実施して行ってほしい。

(真に地区民の意見を反映していく場が無い)

【回答】

学校の統廃合は難しい問題ですので、単年度で解決することは出来ないものであり、保護者や地域の方々のご意見を聴きながら十分協議をし、進めていくものだと考えております。今後、進めていくにあたっては、市広報紙や市ホームページでの情報の提供に加え、本日のような説明会を開催するなどして皆さんと共有を図る場を設けていきたいと思っております。

現時点の予定では、今年度中に年次計画や優先順位を踏まえた適正配置計画（案）を策定し、皆さんに説明しご意見を伺う場を設けていきたいと考えています。

---

※豊岡小学校統廃合に関わる地域会合の意見集以外の意見内容と回答

◎男性

統廃合を中心に進めていく形に見えるが、教育委員 6 名全会一致で統廃合を進めていくということになっているのか。例えば、小規模校を活かすという意見と、統廃合を進めるという 2 チームに分かれて話し合いを進めていくことはできないのか。

○教育総務課長

基本方針を策定する中で色々な議論を重ね、ある程度規模があった方が、教育効果が高いということになった。規模があれば、少人数の授業も出来るし、集団活動も可能である。小さいままだとやり方が限られてしまう。最終的には規模を確保するという判断に至った。教育委員会の具体的な案を今後作成し説明、理解が得られれば話を進め、理解が得られない状況であれば地域の意見を無視して進めるということはしない。その時には今の状況で、デメリットを解消する方策を考えながら学校を存続していくしかないと考えている。

◎男性

卒業生の中でも地元に戻りたいという人が多くいるはずで、小学校がなくなると帰りづらいと思う。一例として、豊岡保育園がなくなってしまった。地元を受け皿を残して欲しい。また、学力の低下が懸念される。

○教育総務課長

市でも方法は考えている。地方創生計画を今後策定する予定で、人口の減少は避けられないが、減少幅を少しでも緩やかにするような方策を検討している。

○学校教育課長

学力の向上は、勉強しようとする意欲、自ら学ぶ力の向上である。少人数であればそれほど意欲の向上は見られないが、人数が多いと目に見える成果があるので自ら学ぶ意欲の向上につながる。また、一つの問題に対して、固定された少人数の意見ではなく、多くの意見に触れることができることは重要である。教師が同学年に複数いることにより、お互いを高め合い、教師の質が向上することもいい影響があると考えられる。

◎女性

あり方検討委員会に市長は何回出席しているのか。

○小川教育総務課長

教育委員会から諮問を受けて、討議を行っているので、市長は出席していない。

◎女性

特認校制度は考えていないということであるが、人口を増やす取り組みを行い、市外からの流入も見込んだらどうか。松尾高校もスーパーグローバルハイスクールに指定されて人気が出ると思う。統廃合だけではなく、豊岡小学校の魅力化を図り、モデル校として引き続き特認校制度を検討してもらいたい。

○教育総務課長

全市的に小規模校である本市においては望ましい方策ではないと判断し、統合により規模適正化を図る考えに至ったが、教育委員会に報告させていただく。

◎女性

交付税は1校あたりどの位交付されるのか。

○教育総務課長

1校あたり約900万円である。統廃合により学校の運営にかかる費用は削減されるが、交付税などが減額となるため、財政的なメリットはない。あくまでも子ども達のためを考え検討した結果である。

◎女性

小学校単位での説明会はいいと思うが、意見を言っても変わらないから行かないという保護者もいる。みんなの声を吸い上げる方法をもう少し考えて欲しい。

◎男性

豊岡はまとまりがよく、地域と密接なつながりがあり、いいと思っている。人口の減少はやむを得ないが、魅力的な街づくりや人口減少対策を考えてから統廃合を行うべきではないか。

○教育総務課長

地方創生計画を今後策定する予定で、減少幅を少しでも緩やかにするような方策を検討している最中である。ただ、その方策の効果が現れるのは当分先のこととなる。児童の減少はもう目に見えている状況なので、規模適正化・適正配置を進めている状況である。

◎男性

来年、孫が入学する。横芝から26年前に引っ越してきた。

国の規模適正化の基準を満たす学校は市内には少ないはず。基準にあった学校になるための統廃合をさらに進める考えはあるのか。また、どのような考えで統廃合が進められるのか。

○教育総務課長

今回は、地域性、通学距離等を考慮し組み合わせを作成した。新たな統廃合はないとはいえないが現時点では考えられない。規模、建築年数等を総合的に考え、財政的な面も含めて、市長部局と相談し進めていく。

◎男性

行政のトップが変わると方針が変わってしまう。この説明会に来ている人が今後同じ部署にいるとは限らない。行政のシステムとしてしょうがないと思うが、せめて最後まで見届ける行政の職員がいてもいい。そういう考えで進めて欲しい。

○教育総務課長

異動となった場合でもきちんと記録化し、引き継いでいく。

◎女性

校長・教頭が来ているので、少人数についての実際の様子を教えてもらいたい。

○校長

豊岡小学校を卒業し、人数の多い中学校に通う際、大きな集団にとまどった子もいる。

人数が少ない関係もあり、いつも全力を出さざるを得ない状況に置かれている。

スポーツ大会などは、どれだけ頑張っても結果がついてこないで悔しい思いをしている子どももいる。